

Eastspring Asia Now

Vol.22 格上げが相次いだアジア諸国

eastspring
investments

2017年はインドネシア、インド、フィリピンが格上げ

インドネシア：S&Pが「投資適格級」に、フィッチは「BBB」へ格上げ



- ▶ 2017年5月、格付け機関のS&Pグローバル・レーティング（以下「S&P」）は、インドネシア政府の自国通貨建ておよび外貨建ての長期債格付けを、「BB+」から一段階引き上げて、投資適格級となる「BBB-」としました。他の大手格付け機関である、フィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」）は2011年12月に、ムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）は2012年1月に、それぞれ投資適格級に格上げしており、S&Pの格上げにより、大手3機関とも投資適格級の格付けとなりました。
- ▶ S&Pは、格上げの理由を「インドネシア政府は財政を安定させるために有効な支出や歳入措置を行っている」とし、インドネシアの財政状態の改善を評価しました。財政赤字抑制の例として、ガソリンや電気料金への補助金の削減などがあげられます。
- ▶ また2017年12月にはフィッチが、インドネシア国債の格付けを「BBB-」から「BBB」に引き上げました。これら一連の格上げが、中長期的にインドネシア債券市場への安定的な資金流入に繋がると期待されています。今後はフィッチに続き、ムーディーズも格上げを決定するかが注目されます。

インド：モディ政権の改革を評価（ムーディーズ）



- ▶ 2017年11月、ムーディーズは、インド政府の自国通貨建ておよび外貨建ての長期債格付けを「Baa3」（「BBB-」に相当）から「Baa2」（「BBB」に相当）へ一段階引き上げました。また、見通しは従来の「ポジティブ」から「安定的」に変更しました。
- ▶ ムーディーズは、モディ政権が進める経済改革・制度改革がインドの高い成長の可能性を押し上げ、中長期的に政府の債務負担軽減に寄与するとの見方から格上げを決定しています。また、各種改革の中で特に重要なものとして物品・サービス税（GST）を挙げ、GSTの導入により生産性が改善されるとの見方を示しました。GST導入や2016年の高額紙幣刷新によって短期的には景気下押し圧力がかかったものの、今後成長率は再加速するとの見通しを示しています。

自国通貨建て・外貨建て長期債格付け
(2018年1月10日時点)

	S&P	ムーディーズ	フィッチ
インドネシア	BBB-	Baa3	BBB
インド	BBB-	Baa2	BBB-
フィリピン	BBB	Baa2	BBB

出所：Bloomberg L.P. ※赤字は2017年内の格上げ

フィリピン：好調な経済成長を受け、フィッチが格上げ



- ▶ フィッチは2017年12月（インドネシアの格上げ前）に、フィリピンの長期債格付け（自国通貨建て、外貨建て）を「BBB-」から「BBB」へ引き上げました。格上げの理由は、経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）の改善としています。フィッチは「フィリピンは健全な政策に支えられ、高い経済成長率が続く可能性がある。経済成長率について18年、19年ともに6.8%を予想する」と述べています。
- ▶ フィリピンでは、昨年末にインフラ整備の財源等を捻出する包括税制改革の第1弾が成立し、更なる経済成長への期待が高まっています。ドゥテルテ大統領は、総額約3兆8千億ペソと過去最大となる2018年度予算も成立させました。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

180112 (06)

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ